

# 「にじいろのまがたま」プロジェクト

## ◆事業の目的・背景

おはなしの部屋は読み聞かせや大型紙芝居・人形劇など様々な方法で子どもからお年寄りに物語の楽しさを伝え、読書の推進をしてきた。今回、地域の作家のお話「にじいろのマガタマ」(小口明著)を紙芝居から影絵(又は人形劇)にし、図書館や小学校等で公演を行い、多くの人に郷土の誇りを持ってもらいたい。また、次世代の若い人たちに地域の物語を伝承する活動に繋げていきたい。



## ◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
令和元年	・「にじいろのマガタマ」紙芝居作成 ・「にじいろのマガタマ」原画展を図書館で開催 ・下諏訪南小学校・北小学校等で発表	100,000円

## ◆事業成果

- ・長いお話にもかかわらず、どの学校の公演でも子どもたちは紙芝居にくぎづけで、真剣に見てくれた。お話が好きで物語に入り込み、読書を推進してきた町らしく子どもたちが育っていることを実感した。
- ・40年ほど前、岡谷の天王森でマガタマがたくさん発見されたことから生まれたお話だが、近年、星が塔の発掘により、昔この地域は黒曜石を求めて多くの人々が交流したのではないかという仮説にロマンを感じ、このロマンを子どもたちにも感じてもらい、ふるさとに誇りを持ってもらえたらと思っている。

## ◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・紙芝居の発表に日が決まっていたので、間に合わせるために目をつぶってしまったところなど少しずつ修正していきたい。